

令和4年度第2回松江市立法吉小学校学校運営協議会会議録

1 日 時

令和4年11月10日（木）14：05～14：50 授業視察  
15：00～16：10 協議

2 場 所

法吉小学校 会議室

3 出席者

- (1) 委 員 若林三成会長、木次三郎委員、安達卓生委員、小数賀安富委員  
松浦ぎん子委員、岩本千代委員、平石真由美委員
- (2) 事務局 糸賀校長、常松教頭、別所主幹教諭、松本主事、土肥地域学校協働活動推進員

4 議 題

- (1) 会長あいさつ  
(2) 児童の様子について（学習、生活の様子等）  
(3) 地域との交流について  
(4) その他

5 議事の要旨

- (1) 会長あいさつ  
若林三成会長より
- (2) 児童の様子について（学習、生活の様子等）  
校内音楽会、修学旅行など学校行事について  
全国学力・学習状況調査回答結果について
- (3) 地域との交流について  
学校支援ボランティア活動について
- (4) その他  
事務局より

6 会議経過

- (1) 若林三成会長よりあいさつ
- (2) 糸賀校長より、学校行事についてコロナもまだ心配ではあるが、通常通りに戻りつつあり、校内音楽会は昨年同様観覧人数制限をし、開催した。修学旅行は無事に広島に行くことができたが、5年生の宿泊訓練はサンレイク側の問題で、日帰りで実施する予定であることを報告。全国学力・学習状況調査の回答結果集計表(抜粋)を委員に配布し、表の見方について説明があった。

別所主幹教諭より、ロードレースが来週開催されるので、子どもたちは元気に走り練習しているが、学校に登校しにくい児童も2学期から増えている。また今年度は登下校中の交通事故が増えたなど児童の暮らしについて報告を行った。

《下記、委員からの意見》

- ①7/1に学校運営協議会の研修会に参加したが、その際に福岡県春日市の事例で、学校の問題点を地域に発信するようになって、地域が動き出すようになったという事から、本校でもそのようにしてもらえたら、もう少し協力など出来るのではないかと思った。  
学校からの情報発信により、法吉小でコロナがすごく流行っているらしいなどの地域の噂もなくなるのではないか…
- ②全国学力・学習状況調査回答集計表の(14)「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」のはいの回答が57.1%ということについて、先生方はこの数字をどう思っているか、実際にどんな取組みを行っているのか、聞かせてほしい。
- ③コロナによって人と触れ合う機会がなくなってしまい、人を思いやる心など小学校時代に培われなければならない大事なことが失われるのではないかと危機感を感じている。子どもたちが人と関わっていける場を地域も協力して作っていかなければならないと思う。
- ④校庭の芝刈りのボランティアをしているが、作業中遠くからお礼を言ってくれる児童がいて非常に嬉しく思い、今後も続けていきたいと思った。
- ⑤スマホの勉強会に行った際、ネット依存になった当事者の講演を聴いてインパクトがあったので、子どもたちにもそういう機会があればよいのではないかと思う。  
不登校児童について、家庭への支援が必要な場合も多いのではないかと思うので、地域での見守り等協力していければよいと思う。
- ⑥社会的に子どもの貧困について問題になっているが、地域で把握出来ていないので、法吉小はどのような状況なのか教えてほしい。

《学校側より》

- ①について  
コロナについては、個人情報でもあるので情報発信はなかなか難しい。
- ②について  
6年生のみの回答結果であるが、低いと思う。今はちょうど2回目の教育相談を行っている時期。毎回事前アンケートを取り放課後4日間、年2回実施している。教育相談の場や保健室では、本音がもらせる児童も多い。
- ③について  
今後は音楽会、教育懇談日など地域の方々にも学校へ来ていただける機会を設けられたいと思っている。
- ⑥について  
フードバンクからの依頼で年2回食料など配給についての案内文書を、市の就学援助を受

けている児童保護者宛に送っているが、利用状況などは学校で把握できない。

- (3) 土肥地域学校協働活動推進員より 1、2 学期の学校支援ボランティア活動について報告があった。

7 事務局より

- ・ 12/1 地域学校協働本部連絡協議会（東出雲公民館）の出欠について